

平成29年産もも、すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量

－ ももの収穫量は前年産に比べ2%減少、すももは同15%減少 －

【調査結果の概要】

1 もも

全国の結果樹面積^(注)は9,700haで、前年産並みとなった。

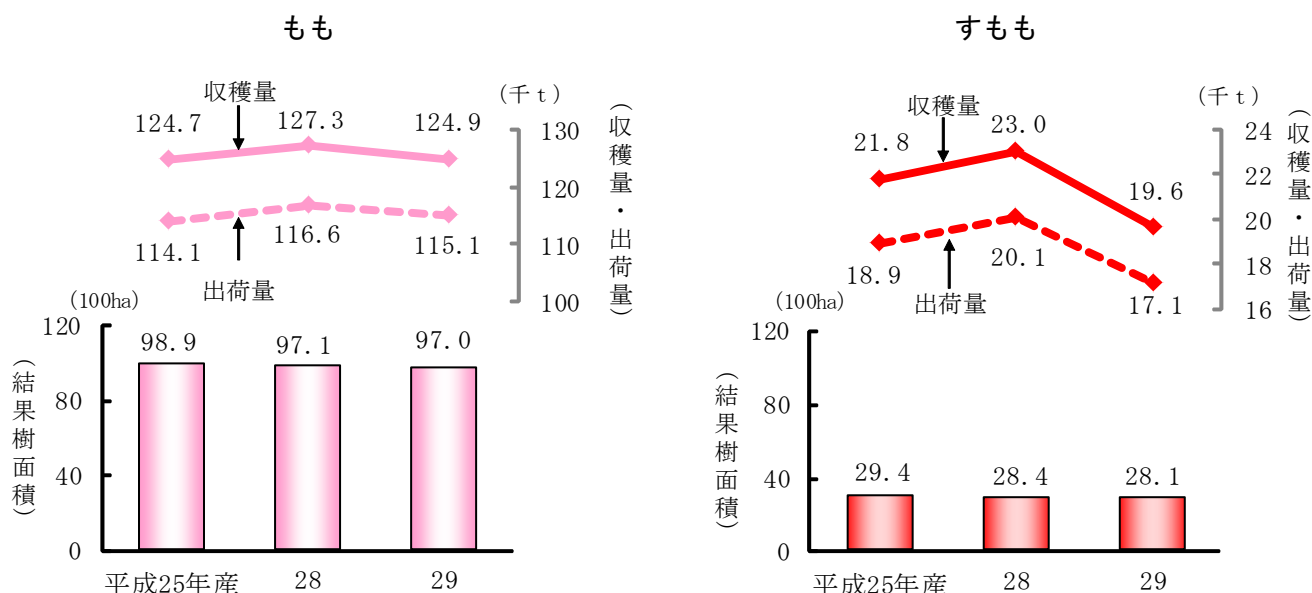
収穫量は12万4,900 t、出荷量は11万5,100 tで、前年産に比べそれぞれ2,400 t (2%)、1,500 t (1%)減少した。

2 すもも

全国の結果樹面積は2,810haで、前年産に比べ30ha (1%)減少した。

収穫量は1万9,600 t、出荷量は1万7,100 tで、前年産に比べそれぞれ3,400 t (15%)、3,000 t (15%)減少した。

図1 もも、すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量（全国）



注：結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y6】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 果実を安定的に供給するための生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適正な運営のための資料

◎ 累年データ

1 ももの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

2 すももの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

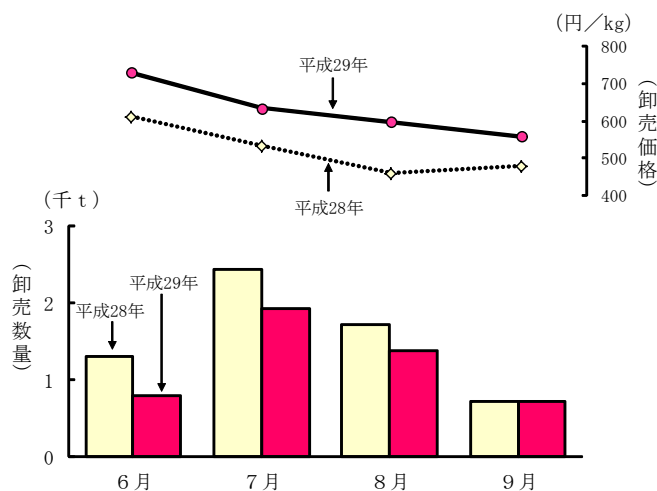
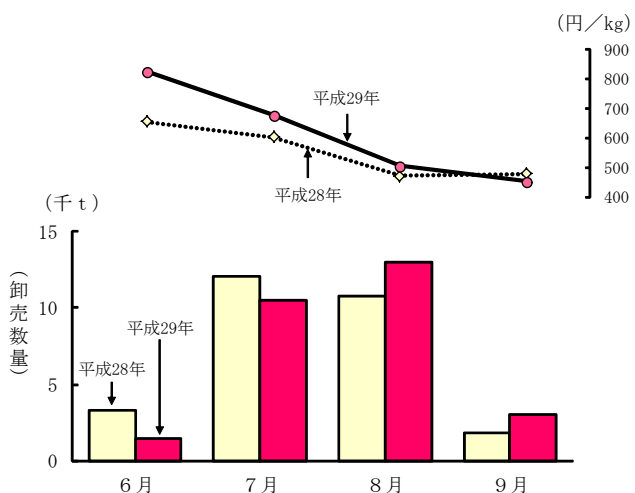
年 産	もも				すもも			
	結果樹面積 ha	10a 当たり 収 量 kg	収 穫 量 t	出 荷 量 t	結果樹面積 ha	10a 当たり 収 量 kg	収 穫 量 t	出 荷 量 t
平成 20 年産	10,100	1,560	157,300	144,100	3,020	861	26,000	22,600
21	10,100	1,490	150,700	138,300	3,010	694	20,900	18,100
22	10,000	1,370	136,700	125,700	2,990	699	20,900	18,100
23	9,980	1,400	139,800	128,100	2,970	758	22,500	19,600
24	9,950	1,360	135,200	123,700	2,970	751	22,300	19,300
25	9,890	1,260	124,700	114,100	2,940	741	21,800	18,900
26	9,850	1,390	137,000	125,400	2,900	769	22,300	19,600
27	9,690	1,260	121,900	111,400	2,880	740	21,300	18,600
28	9,710	1,310	127,300	116,600	2,840	810	23,000	20,100
29（概数）	9,700	1,290	124,900	115,100	2,810	698	19,600	17,100

資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』

◎ 関連データ

1 ももの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）

2 すももの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）



資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査（日別調査）」（2のグラフにおいて同じ。）

注：全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の日別値を加算し算出したものである（2のグラフにおいて同じ。）。

【調査結果】

1 もも

(1) 全国の結果樹面積は9,700haで、前年産並みとなった。

(2) 全国の10 a 当たり収量は1,290kgで、前年産に比べ20kg（2%）下回った。

(3) 全国の収穫量は12万4,900 t、出荷量は11万5,100 tで、前年産に比べそれぞれ2,400 t（2%）、1,500 t（1%）減少した。

(4) 都道府県別の収穫量割合は、山梨県が31%、福島県が23%、長野県が12%となっており、この3県で全国の約7割を占めている。

図2 ももの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

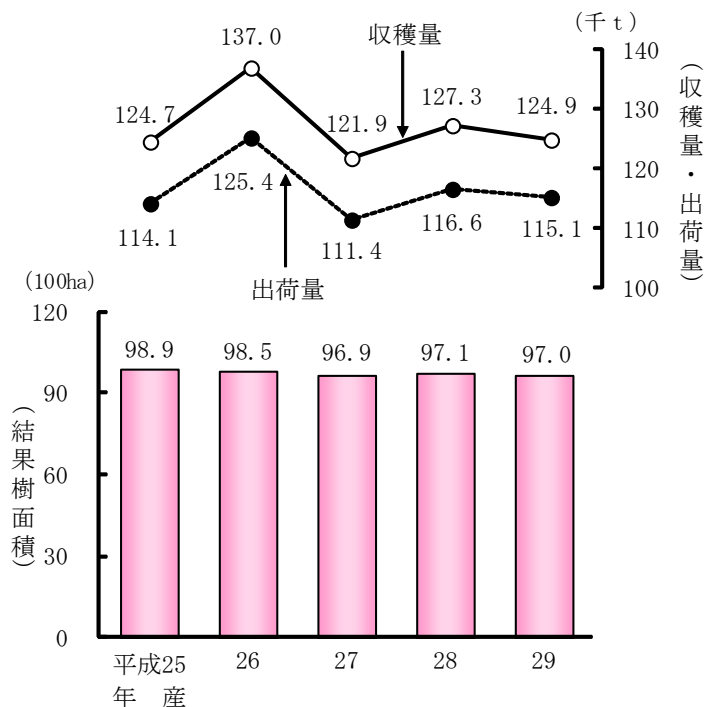


図3 ももの都道府県別収穫量

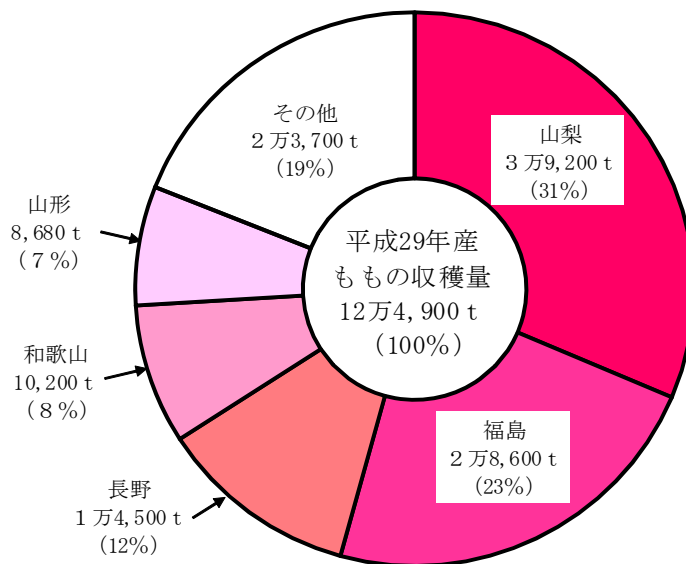


表1 平成29年産ももの結果樹面積、10 a 当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10 a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10 a 当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
もも	9,700	1,290	124,900	115,100	100	98	98	99

2 すもも

(1) 全国の結果樹面積は2,810haで、前年産に比べ30ha（1%）減少した。

(2) 全国の10a当たり収量は698kgで、前年産に比べ112kg（14%）下回った。
これは、開花期の低温による受粉不良の発生で着果数が減少したことに加え、果実肥大期の少雨により肥大が抑制されたこと等による。

(3) 全国の収穫量は1万9,600t、出荷量は1万7,100tで、前年産に比べそれぞれ3,400t（15%）、3,000t（15%）減少した。

(4) 都道府県別の収穫量割合は、山梨県が34%、長野県が16%、和歌山県が10%となっており、この3県で全国の6割を占めている。

図4 すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

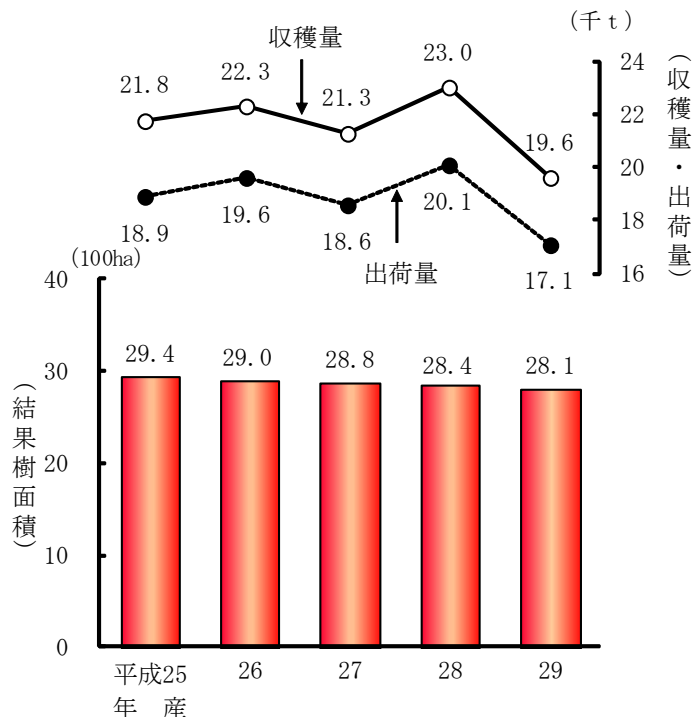


図5 すももの都道府県別収穫量

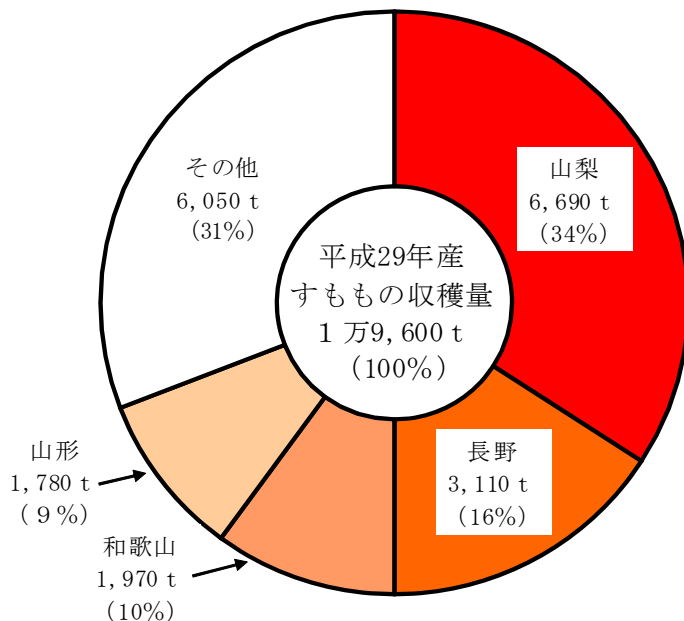


表2 平成29年産すももの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
すもも	2,810	698	19,600	17,100	99	86	85	85

【統計表】

1 平成29年産ももの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a当たり 収量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	9,700	1,290	124,900	115,100	100	98	98	99
うち 山 形	607	1,430	8,680	7,840	100	94	95	95
福 島	1,580	1,810	28,600	26,500	103	95	98	98
新 潟	223	950	2,120	1,880	97	81	79	79
山 梨	3,160	1,240	39,200	37,400	99	99	98	100
長 野	1,040	1,390	14,500	13,400	99	91	90	91
岐 阜	69	941	649	595	99	90	89	90
和 歌 山	760	1,340	10,200	9,370	99	104	103	103
岡 山	631	1,100	6,940	6,200	100	127	127	127
香 川	178	640	1,140	968	96	113	109	109
愛 媛	77	431	332	284	99	107	106	107

注：1 調査は、平成28年（全国調査年）の全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び果樹共済事業を実施する都道府県（主産県）を対象に実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した（以下同じ。）。
2 平成29年産より、おおむね80%を占めるまでの上位都道府県の要件を、出荷量から栽培面積に変更した（以下同じ。）。

2 平成29年産すももの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a当たり 収量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	2,810	698	19,600	17,100	99	86	85	85
うち 北 海 道	135	578	780	724	nc	nc	nc	nc
青 森	104	973	1,010	880	100	108	108	109
山 形	241	740	1,780	1,570	101	79	80	80
福 島	151	516	779	644	99	85	85	82
山 梨	813	823	6,690	6,000	99	84	84	84
長 野	381	817	3,110	2,710	99	93	92	89
和 歌 山	292	673	1,970	1,810	100	78	78	78
福 岡	69	749	517	484	93	88	82	82
鹿 児 島	69	180	124	104	99	66	65	71

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の果樹調査として実施したものであり、果樹の結果樹面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進、農業災害補償法に基づく果樹共済事業の適正な運営等のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており（直近では平成26年産）、その中間年に当たる本年産にあつては、調査対象品目ごとに、平成28年面積調査結果に基づき、全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び調査対象品目に係る果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としている。

なお、平成29年産より、おおむね80%を占めるまでの上位都道府県の要件を、出荷量から栽培面積に変更した。

(2) 調査対象者の選定

ア 関係団体調査（全数調査）

主産県において、調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

イ 標本経営体調査（標本調査）

2015年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で栽培し、関係団体以外に出荷した農林業経営体から無作為に抽出をした。

なお、都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が8割を超える場合は、調査を行わない。

(3) 調査対象者数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効回収数 ②	有効回収率 ③=②/①	母集団の大きさ ④	標本の大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効回収数 ⑦	有効回収率 ⑧=⑦/⑤
	団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
もも	167	148	88.6	9,423	517	5.5	359	69.4
すもも	107	94	87.9	3,070	544	17.7	329	60.5

注：「有効回収数」は、回収があったもののうち、当年産において栽培がなかった標本経営体等を除いた数である。

3 調査事項

(1) 関係団体調査

調査対象品目の結果樹面積及び出荷量

(2) 標本経営体調査

調査対象品目の結果樹面積、出荷量及び自家用、無償の贈与の量

4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、本調査の年産区分の主たる収穫期間は、次のとおりである。

品目	主たる収穫期間
もも	平成29年6月～8月
すもも	平成29年7月～8月

5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

6 集計方法

(1) 都道府県値

結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に行っており、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり収量を、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完し、これに結果樹面積を乗じて算出している。

出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた出荷率等を基に算出している。

(2) 全国値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国調査を行った平成26年産の調査結果に基づき次により推計した。

ア 結果樹面積

$$\text{当年産の全国値の推計値} = \text{結果樹面積の主産県値} + \frac{\text{結果樹面積の主産県値}}{\text{栽培面積の主産県値}} \times (\text{栽培面積の全国値} - \text{栽培面積の主産県値})$$

(注)「栽培面積」は、農林水産省大臣官房統計部が平成29年10月に公表した「平成29年果樹及び茶栽培面積（7月15日現在）」による。

イ 収穫量及び出荷量

$$\text{当年産の全国値の推計値} = \frac{\text{平成26年産の全国値} \times \text{当年産の主産県値}}{\text{平成26年産の主産県値}}$$

7 実績精度

本調査の収穫量に係る調査結果（主産県計）の実績精度（標準誤差率の推定値）は次のとおりである。

区 分	標準誤差率(%)
も も	1.4
す も も	2.2

8 用語の解説

- (1) 結果樹面積とは、栽培面積のうち、生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。
- (2) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (3) 出荷量とは、収穫量から生産者の自家消費量、生産物を贈与した量等を差し引いた重量をいう。

9 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100以下)
四捨五入する桁数（下から）		2桁		1桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

- (2) 表中に用いた記号は、次のとおりである。

「nc」：計算不能

- (3) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「平成29年産もも、すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量」（農林水産省）による旨を記載してください。

10 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（平成30年12月予定）するとともに、その後刊行する『平成29年産果樹生産出荷統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「果樹」の「作況調査（果樹）」で御覧いただけます。

【http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y6】

【関連リンク】

果樹関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ＞果樹施策の概要

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/pdf/kajyu427.pdf>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 園芸統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3680

（直通）03-6744-2044

FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>